

令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会事業報告

新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化は、地域福祉活動にも大きな影響を与え、人と人とのつながりが希薄化すると同時に、地域における福祉ニーズがさらに複雑・多様化する中で、地域福祉活動の中核をなす本協議会の役割や真価が大きく問われた年となりました。

こうした中、これまでに引き続き、コロナ禍による景気悪化の影響で生活困窮に陥った住民に対する支援として、令和4年9月末日で貸付を終了した緊急小口資金等の特例貸付業務の借受人に対する相談支援、食料品に生活用品を加えたフードアプリケーションプラスを実施するなど、生活支援に取り組むとともに、地域福祉活動においては、三密を避けるため少人数による複数回開催や屋外活動を取り入れるなど工夫した取組に努め、加えて、本協議会が持つネットワークを活かし、関係団体などと連携・協働し、地域における見守りなどを推進し、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進のため、安心して暮らせる地域社会の実現に向け取組みました

さらには、甲府市と共同策定した「甲府市地域福祉推進計画」をはじめ、関係する諸計画に掲げる施策と各事業の推進を図るため、自治会連合会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会等の関係団体をはじめ、行政機関や地域包括支援センター等と連携した活動を展開してきました。

「甲府市地域福祉推進計画」の数値目標設定事業の実施状況は次のとおりです。

令和4年度地域福祉推進計画数値目標設定事業実施状況

	項 目	令和4年度 数値目標①	令和4年度 実績②	比較②-①
1	ボランティア活動機材の貸出件数	27	51	24
2	いきいきサロンの年間延べ参加者数	56,000	33,955	△22,045
3	合同会議及び研修会等の開催回数	175	196	21
4	ボランティア登録団体数	137	125	△12
5	ブロックだよりの発行回数	16	13	△3
6	ふれあい交流フェスタ参加者数	736	643	△93

(令和5年3月31日現在)

1 住民主体による地域福祉活動の推進

(1) ふれあいのまちづくり事業

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、地区社会福祉協議会が行う各種事業や会議が制限される中、市内5ブロックに配置した6名のコミ

ユニティソーシャルワーカー¹（CSW）が、各地区での住民主体による支え合いの地域づくりを行うとともに、住民からの相談や福祉課題に対応するなど、地域福祉の推進と充実に努めました。

ア 福祉のまちづくり推進事業

子どもから高齢者、障がい者など、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを目指し、新型コロナウイルス感染症の感染状況を配慮する中で、「住民参加による地域福祉活動」や「小地域ネットワーク活動」が、地域の実情に即した取組として実施できるよう、情報提供や助言等を行いました。

(ア) 住民参加による地域福祉活動

地区社会福祉協議会が主体となり実施する住民参加による地域福祉活動は、コロナ禍により多くの事業の開催が困難な状況でしたが、三密を避けるために複数回に分けて開催をしたり、屋外で活動する等工夫した活動が実施されました。また、地域住民への啓発を図る地区社協だよりの発行支援や地区社会福祉協議会からの相談等に応じるなど、情報の提供や助言等の支援を行いました。

令和4年度は新たな取組して、地区社会福祉協議会相互の連携や情報共有をさらに円滑に行えるよう、市社会福祉協議会主催のグラウンドゴルフ大会を開催し、併せて地域貢献のため会場において募金や寄付物品を受付けました。

また、福祉への親しみと関心が深まるよう地域生活における気付きや体験、ボランティア活動への思いを川柳にする「ふくし川柳」を募集し、入選作品については、市社会福祉協議会のホームページやLINE、広報紙などに掲載しました。

- ・ 甲府市社会福祉協議会グラウンドゴルフ大会
日 時 令和4年12月4日（日）午前9時
場 所 甲府市上下水道局昭和水源グラウンド
参加者 115人（23地区参加）

- ・ ふくし川柳
募集期間 令和4年10月1日（土）～12月20日（火）
投票期間 令和5年1月16日（月）～1月20日（金）
応募総数 106句（入選：3部門 各2句）

(イ) 小地域ネットワーク活動

地区社会福祉協議会が行う小地域ネットワーク活動にもコロナ禍による影響がありました。ブロック担当のコミュニティソーシャルワーカーは、「ブロックふれす」や各地区での会議、研修会等を通じて、感染症対策に配慮した活動の注意点や活動事例の紹介を行うとともに、情報提供や助言等の支援を行いました。

¹ コミュニティソーシャルワーカー（CSW）は、制度の狭間などの個別の課題に対応し、個別の課題を地域の課題として捉え、地域住民や関係機関とともに課題解決に向けて取り組みます。

なお、職員が参加した地区社協主催の会議や研修会等は以下のとおりです。

中央ブロック：33回、東ブロック：25回、西ブロック：35回
南ブロック：45回 北ブロック：26回 合計164回

(ウ) 福祉人材の育成

地域福祉への理解や意識向上のため、各ブロックのコミュニティソーシャルワーカーが各地区での研修会の支援を行いました。

また、福祉推進員地区代表者会議を、次のとおり実施しました。

- ・福祉推進員地区代表者会議

日 時 令和4年10月20日（木）午後2時

場 所 甲府市総合市民会館 大会議室

内 容 1 生活支援体制整備事業及び笑顔ふれあい訪問サポート事業
について
2 第15期福祉推進員の推薦依頼等の説明

イ 地区社協会長会議の開催

日 時 令和4年6月20日（月）午前10時45分

場 所 甲府市総合市民会館 大会議室

内 容 小地域ネットワーク活動実施要領及び福祉推進員設置要綱一部改正について

ウ ブロック会議、合同会議への支援

ブロック会議開催に向けて、各ブロックにおいて幹事地区社協と打ち合わせ等検討を行ってきましたが、コロナ禍を考慮し、開催を見送ることとなりました。

また、ブロック担当のコミュニティソーシャルワーカーが地域包括支援センターや甲府市の保健師などと協働し、各地区の課題解決等に向け、合同会議の支援などを行いました。

エ 心配ごと相談事業

甲府市役所本庁舎4階に設置されている心配ごと相談室において、市民の日常生活における悩みごとなどの相談に6名の相談員が対応しました。

また、地域福祉推進課では、市民から寄せられる生活上の困りごとや地域福祉に関する相談に、6名のコミュニティソーシャルワーカーが対応しました。

(ア) 心配ごと相談室の運営

市民の日常生活における悩みごとに対し、民生委員児童委員や保健師等の有識者が輪番制により対応し、問題解決が困難な相談については、他の専門機関等と連携を図り、解決に向けて相談・援助を行いました。

相談への対応については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点か

ら原則として面談による相談を中止とし、電話での対応としました。

また、ホームページや甲府市広報に掲載するとともに、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会及び甲府市福祉センター等指定管理施設にチラシを配布し、広報活動を行いました。

・開設状況

開設日時 月～金曜日 午後1時～4時
開設日数 243日
相談者数 483名 (昨年度比 60名減)
相談件数 483件 (昨年度比 75件減)
相談分野 精神保健問題117件、障害者(児)福祉問題92件、苦情問題67件、財産問題32件、生計問題27件 他

(イ)相談員連絡会及び研修会の開催

相談業務の適正を期するために、毎月第3木曜日に連絡会を開催し、相談事例の研究や情報交換等を行い、また、3月には、心配ごと相談員の研修会を開催し、相談援助技術の向上に努めました。

・連絡会

日時 毎月第3木曜日 午前10時
場所 甲府市男女共同参画センター

・研修会

日時 令和5年3月16日(木) 午前10時40分
場所 甲府市男女共同参画センター
講師 山梨県宅地建物取引業協会
消費者支援業務委員長 北村公一 氏
演題 「空き家をめぐる課題や法律改正の背景について」

(ウ)こちら社協派出所の開設

地域住民の身近な相談窓口として、福祉センター(市内5カ所)と健康の杜センターにコミュニティソーシャルワーカーが出向き、地域住民からの相談に対応しました。

・開設状況

日時 令和5年1月31日(火) 午前10時 貢川福祉センター
2月 2日(木) 午前10時 健康の杜センター
2月 7日(火) 午前10時 相川福祉センター
2月 9日(木) 午前10時 玉諸福祉センター
2月14日(火) 午前10時 相生福祉センター
2月16日(木) 午後 1時30分 山宮福祉センター

2月21日(火) 午後 1時30分 健康の杜センター
 2月28日(火) 午後 1時30分 玉諸福祉センター
 3月 2日(木) 午後 1時30分 相川福祉センター
 3月 7日(火) 午前10時 山宮福祉センター
 3月 9日(木) 午後 1時30分 相生福祉センター
 3月16日(木) 午後 1時30分 貢川福祉センター

相談者数 7人

相談件数 7件

相談分野 生計2件、仕事2件、住宅2件、高齢者福祉1件、その他2件

オ 虐待防止啓発事業

今年度は、「障害者虐待防止」をテーマとして市全域を対象とした啓発研修会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により開催を中止とし、研修会の代替えとして、「障害者虐待防止啓発のためのチラシ」を作成し、16地区の福祉推進員会等の会議において啓発活動を行いました。

(2) 生活支援体制整備事業

日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、市内5ブロックに配置されている生活支援コーディネーター(CSW兼務)が、地域包括支援センター及び甲府市地域保健課と協働しながら、地域の各種団体と連携し、社会資源の把握、サービスや活動の創出、関係者間のネットワーク構築等に取り組むとともに、甲府市が協議体を設置している地区においては、協議体の運営支援等に努めました。

・協議体設置地区数 11地区

・社会資源の把握件数

中央ブロック 0件

東ブロック 0件

西ブロック 7件(地域活動3件、その他4件)

南ブロック 2件(地域活動1件、その他1件)

北ブロック 3件(個人1件、地域活動2件)

市内全域 0件

・生活支援体制整備事業に関わる会議の開催及び参加状況(令和5年3月末時点)

ブロック	実施数	地区別実施数
中央	46	富士川：7回、春日：9回、相生：5回、朝日：23回、その他：2回
東	34	琢美：6回、東：2回、里垣：2回、玉諸：16回、甲運：7回、その他：1回

西	42	穴切：26回、貢川：1回、石田：8回、池田：4回、新田：3回
南	111	伊勢：18回、湯田：5回、国母：4回、大国：30回、山城：3回、大里：5回、住吉：10回、中道：10回、上九一色：16回、その他：10回
北	39	北新：4回、相川：10回、千塚：10回、羽黒：9回、千代田：6回
ブロック外	28	こちら社協派出所：16回、研修会：6回、市会議：3回、県社協会議：1回、複数ブロック会議：2回
合計	300	

※実施数には、第2層協議体、サロン訪問、地域包括支援センター主催の地域ケア会議、高齢者支援地域推進会議等が含まれています。

※その他は、複数の地区に係わる会議や打ち合わせ等の回数です。

(3) 住民参加の支え合い事業

日常生活上の支援が必要な高齢者や障がい者等が、いつまでも安心して住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう、様々な住民参加の支え合い事業を実施し、介護予防・重度化防止のための取組を推進しました。

ア 配食サービス事業

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、傷病等により、食事づくりが困難な方を対象に、配食ボランティア等による見守りや声かけによる安否確認を兼ねた、安全かつ安心な栄養バランスの取れた配食を行うとともに、敬老の日やお正月等利用者が季節感を味わえるような副食の提供やメッセージカードの配付を行いました。

また、ホームページや甲府市広報等において、事業の周知や配食ボランティアの募集を行うとともに、配食ボランティア地区では、地区の実情に合った配食ボランティア募集チラシを作成しました。

なお、配食ボランティア責任者を対象とした配食サービス事業会議の開催や、地区ごとに開催された配食ボランティア交流会への参加を通じて、配食ボランティアの課題や活動状況を把握するとともに、課題解決に向けた意見交換を行い、配食ボランティアの円滑な活動に繋がるよう取組みました。

・配食数

ボランティア配食数（14地区） 10,205食（前年度比228食減）

業者配食数 16,851食（前年度比2,519食減）

職員配食数 411食（前年度比94食減）

・副食及びメッセージカードの配付状況

メッセージカードの配布 令和4年 7月 1日～7日 七夕

8月 1日～5日 暑中見舞い

9月12日～16日 敬老の日

		12月19日～23日	クリスマス
	令和5年	1月4日～5日	年賀
		2月27日～3月3日	ひな祭り
副食の配付	令和4年	9月12日～16日	敬老の日
	令和5年	1月4日～5日	年賀
		2月27日～3月3日	ひな祭り

・配食サービス事業会議

日時 令和4年6月20日（月）午前9時30分

場所 甲府市総合市民会館 大会議室

内容 ①配食サービス事業の概要について

②令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について

③意見交換

「配食ボランティア活動における現状と課題について」他

・地区配食ボランティア交流会 8地区

・地区単位での配食ボランティア募集チラシ作成支援 2地区

イ いきいきサロン事業

職員によるサロン訪問を通じて、活動状況や課題を把握するとともに、新しいアイデアや工夫した取組等の情報収集及び情報提供を行う中で、新たな事業として、世代等を問わずに楽しむことができ、認知機能の向上に寄与する「TVゲーム活用事業」の実施に向けた試行及び検討を行いました。

また、みずほ教育福祉財団による「老後を豊かにするボランティア活動資金」の申請や書類作成などの支援を行いました。

さらには、「いきいきサロン活動写真展」の開催や広報紙、地域行事における周知など、サロン活動の普及啓発を図り、新規設立に繋げるための積極的な支援と併せて、「いきいきサロンふれあいの集い」や「すこやか地域サポーター養成講座」、「すこやか地域サポーター養成講座フォローアップ研修」を開催し、サロン運営に関わる担い手の確保と資質向上に努めました。

①新規設立サロン数	2サロン
②活動サロン数	127サロン
③みずほ教育福祉財団助成決定サロン数	5サロン
④すこやか地域サポーター養成講座参加者数 (5福祉センター12回実施)	34名
⑤サロン訪問件数	40件
⑥サロンに関する相談件数	156件
⑦ボランティア講師派遣件数	41件

・甲府市いきいきサロン活動写真展

日時 令和5年1月16日（月）～1月20日（金）午前9時～午後5時

場所 甲府市役所本庁舎 市民活動室

来場者数 390名

- ・すこやか地域サポーター養成講座フォローアップ研修

日 時 令和5年3月1日(木) 午前10時

場 所 甲府市南公民館 大ホール他

受講者数 53名

- ・いきいきサロンふれあいの集い

日 時 令和5年3月17日(金) 午後1時30分

場 所 甲府市総合市民会館 芸術ホール

来場者数 119名

ウ 笑顔ふれあい訪問サポート事業

支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく自立した日常生活を送ることができるように、住民同士の支え合いと助け合いによる多様な生活支援サービス(家事援助)を提供しました。

本事業の担い手となる人材育成として、生活支援サポーター養成講座やフォローアップ研修を開催するとともに、活動前にはオリエンテーションを実施しました。

また、甲府市、地域包括支援センター、生活支援サポーターとの情報交換会を開催し、活動状況や課題等の意見交換を行いました。

- | | |
|----------------|------------------|
| ①生活支援サポーター登録者数 | 49名(19地区) |
| ②利用者数 | 18名(実働サポーター数19名) |
| ③訪問回数 | 336回 |
| ④活動時間 | 338時間 |
| ⑤延べ活動回数 | 503回 |

(清掃117回、洗濯27回、布団干し1回、ベッドメイク1回、衣類の整理・補修8回、調理・配下膳33回、買い物154回、電球・照明取替1回、ごみ出し89回、その他72回)

- ・笑顔ふれあい訪問サポート活動前オリエンテーション

日 時 令和4年4月20日(水) 午前10時

場 所 甲府市男女共同参画センター

出席者 6名

内 容

「支援活動の流れについて」、「活動上の留意点について」、「生活支援サポーターへの配付品について」他

- ・生活支援サポーター養成講座

第1回(伊勢地区)

日 時 令和4年9月11日(日) 午前9時30分

場 所 山梨回復支援センタービル 2F セミナールーム

講 師 山梨県介護福祉士会 望月知子 氏

受講者 34名（生活支援サポーター登録者10名）

内 容

「甲府市笑顔ふれあい訪問サポート事業について」、「高齢者の基礎知識」、
「高齢者との接し方・認知症の理解や対応」「訪問マナー」「生活支援の基本」
「緊急時の対応」

第2回（全市）

日 時 令和5年3月23日（木）午後1時30分

場 所 甲府市総合市民会館 大会議室

講 師 山梨県介護福祉士会 望月知子 氏

受講者 7名（生活支援サポーター登録者3名）

内 容

「甲府市笑顔ふれあい訪問サポート事業について」、
「高齢者の基礎知識、接し方」、「訪問マナー」、「生活支援の基本」

・甲府市笑顔ふれあい訪問サポート事業情報交換会

第1回

日 時 令和5年2月14日（火）午後14時

場 所 甲府市男女共同参画センター

出席者 甲府市、地域包括支援センター、市社協

内 容 実績報告及び意見交換

第2回

日 時 令和5年3月14日（火）午前11時

場 所 甲府市中道公民館 会議室

出席者 甲府市、地域包括支援センター、生活支援サポーター、市社協

内 容 実績報告及び意見交換

・生活支援サポーターフォローアップ研修

日 時 令和5年3月14日（火）午前9時20分

場 所 甲府市中道公民館 会議室

講 師 山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科
准教授 伊藤健次 氏

演 題 コミュニケーションを育む ～思いを尊重し、寄り添う～

受講者 19名

2 支え合いのネットワークと協働体制の構築

(1) ボランティア活動の推進

ボランティアの発掘・育成・ネットワークの強化を図り、市民の協働によるまちづ

くりに取組みました。

ア ボランティア育成啓発事業

(ア) 福祉ボランティア活動実践校への支援

全ての市立小・中・高等学校を3か年計画で実践校に指定し、学校と地域が協働して行う福祉教育やボランティア活動への支援を行いました。

- ・令和4年度福祉ボランティア活動実践校事業

令和4年度指定校 12校

実践校への助成金額 480,000円（1校につき40,000円）

(イ) ボランティア活動の啓発と広報

市民にボランティア情報を提供するため、全戸配付の「甲府市ボランティアだより」（こうふ社協だよりとの合併号）を発行するとともに、ボランティアニュースを4回発行し、市内各関係機関や福祉施設、社協法人会員等に配付しました。

さらに、SNS（フェイスブック、LINE）によるリアルタイムの情報発信を35回行うとともに、社協ホームページ、ボランティアボード、甲府市広報等を活用したボランティア関連の情報提供を行いました。

(ウ) ボランティアの養成

- ・ちょぼらキッズ養成講座

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2年間中止していましたが、令和4年度は、感染状況を勘案し、感染予防・防止対策の徹底を図る中で、子ども達がボランティアについて学び、思いやりの心を育み、ボランティア活動に繋げていくため、8月に3年ぶりに開催するとともに、新たな試みとして、令和5年2月に開催したボランティアウィーク「第4回ふれあい交流フェスタ」において、ちょぼらキッズ養成講座を実施しました。

日 時 令和4年8月19日（金）午前9時30分～

場 所 甲府市協働支援センター研修室

参加者 3名

日 時 令和5年2月18日（土）午前10時30分～

場 所 甲府市総合市民会館

（ボランティアウィーク「第4回ふれあい交流フェスタ」会場内）

参加者 20名

- ・災害ボランティア学習会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和4年度も一般市民等の募集を行わず、災害ボランティアセンターの運営協力者を養成することを目的として、災害ボランティアセンター運営訓練終了後、参加団体である「甲

府市災害ボランティア連絡会」及び学生等で構成されるボランティア団体「甲斐縁隊」等を対象に、令和4年9月に発生し、甚大な被害をもたらした台風15号の被災地である静岡市の災害ボランティアセンター運営支援に派遣した、本市社協職員2名が講師となり、活動報告やセンター運営の心構え、意見交換などを行いました。

日 時 令和4年11月13日（日） 運営訓練終了後
場 所 甲府市総合市民会館 格技場
参加者 31名

・傾聴ボランティア養成講座

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2年間中止していましたが、令和4年度は、感染状況を勘案し、感染予防・防止対策の徹底を図る中で、傾聴ボランティア活動を始めたい人だけではなく、様々なボランティア活動や対人関係で傾聴の技法を活かしたい人が、傾聴の基本的知識や技術を学び、円滑に活動が実践できるよう、3年ぶりに養成講座を開催しました。

開 催 日 令和5年1月25日（水）、2月1日（水）
開催場所 甲府市中央公民館
参 加 者 16名

・手話学習会

聴覚障がいや聴覚障がい者への理解を深めるとともに手話でコミュニケーションを行うことの楽しさを学ぶための学習会を開催しました。

開 催 日 令和5年2月22日（水）、
3月2日（木）、9日（木）、16日（木）
開催場所 甲府市中央公民館
参 加 者 20名

(エ) ボランティアウイーク「第4回ふれあい交流フェスタ」の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2年間中止していましたが、令和4年度は、感染状況を勘案し、感染予防・防止対策の徹底を図る中で、市内の中・高・大学生や障がい児（者）、ボランティア団体などが集い、体験ブースや舞台発表などを通じて交流を図ることで、相互の理解を深め合い、障がいの有無にとらわれないユニバーサルデザインの心を養うことを目的として、3年ぶりに開催しました。

今回は、より多くの方に来場していただくため、これまで行っていた活動展示・体験や舞台発表等に加え、新たな試みとして、SDGsの取組でもある「ようふくりーおゆずり会」や「チャリティバザー」、「子ども食堂」なども実施しました。

開催日 令和5年2月18日(土)
開催場所 甲府市総合市民会館 山の都アリーナ ほか
参加者 643人

(オ) ボランティア募集出張受付所の開設

ボランティアニーズの多様化及び既存ボランティア団体構成員の高齢化が進行する中、市内4大学の学生にボランティア活動への参加を促し、ボランティア団体の拡充と活動の活性化を図ることを目的として、新たな取組として大学構内に臨時のボランティア募集出張受付所を設け、募集及びアンケート調査等を行いました。

開設日 令和4年10月12日(水)
場 所 山梨学院大学構内
登録者 14人(災害ボランティア事前登録)

イ ボランティア活動協働推進事業

(ア) 地域ぐるみボランティア活動の推進

地区社会福祉協議会が主体となり、学校やその他の地区関係団体が連携し、地域ぐるみで福祉のこころを学ぶ福祉教育を実践する地区社会福祉協議会を指定し、活動費用を助成するなどの支援を行っておりますが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各地区において事業が実施できず、指定した地区社会福祉協議会はありませんでした。

(イ) 「フードアプリケーション プラス」の実施

家庭や事業所等から食品等を寄付していただき、子ども支援や生活支援を行っているNPO法人などを通じて、必要する人達にお渡しし、支援を行いました。

- ・フードアプリケーションプラス 夏期
期 間 令和4年7月1日(金)～7月22日(金)
集荷量 食品858kg 生活用品4,484品
- ・フードアプリケーションプラス 冬期
期 間 令和4年11月28日(月)～12月16日(金)
集荷量 食品1,336kg 生活用品5,744品
- ・フードアプリケーションプラス 春期
期 間 令和5年3月1日(水)～17日(金)
集荷量 食品736kg 生活用品2,370品

(ウ) 甲府市災害ボランティアセンター運営

災害時に円滑に災害ボランティアセンター運営を行うため、ノウハウを蓄積した人材の育成を目的として、社会福祉協議会プロパー職員で構成される「災害ボランティアセンター運営チーム」（通称DVOT）メンバーを中心に、同センターの運営支援団体である「甲府市災害ボランティア連絡会」や市内4大学の学生等で構成されるボランティアサークル「甲斐縁隊」の参加を得る中で、甲府市総合防災訓練に合わせて、災害ボランティアセンター本部及びサテライトセンターの運営訓練を実施しました。

また、適切かつ迅速に運営するため、DVOTメンバーと「運営マニュアル」の見直し等について、協議・検討を重ねるとともに、近隣市町社会福祉協議会などが開催した、災害ボランティアセンター運営訓練や研修会に参加し、知識や技術の習得に努めました。

さらに、DVOTの組織強化を図るため、新たに1名をメンバーに任命するとともに、被災者支援と経験値を高めるため、令和4年9月に発生した「台風15号」の被災地である静岡市災害ボランティアセンターの運営支援にDVOTメンバー2名を派遣しました。

- ・災害ボランティアセンター運営訓練
開催日 令和4年11月13日（日）
場 所 甲府市総合市民会館 格技場
参加者 31名

(エ) ボランティア活動への支援

- ・団体及び個人ボランティアの登録・調整

ボランティア活動に関する登録や調整等の相談対応やボランティア活動保険業務等を実施しました。

・相談・登録・斡旋の状況

	活動者	受入者	その他	計
ボランティア相談	4	2	16	22

ボランティア登録	福祉	子どもの健全育成	文化・スポーツ	災害	地域	環境	人権	保健・医療	その他	計
団体	6	1	2	0	2	1	0	0	2	14
個人	5	4	1	15	0	1	0	0	0	26

ボランティア斡旋	施設	サロン	地区社協	その他	斡旋合計	成 立	不成立
単発	11	50	0	5	66	56	10
継続	1	0	0	0	1	0	1

- ・相談…ボランティア活動をしたい人・してほしい人（ニーズ）、その他ボランティアに関する相談件数
- ・登録…個人・団体のボランティアが、ボランティアセンターに新規登録した件数
- ・斡旋…ボランティア活動を希望する個人及び施設等には紹介、ボランティア活動をしてほしい個人及び施設等に斡旋した件数の合計
- ・その他…短期終結ボランティア件数

・ボランティア保険の加入促進

ボランティア活動が安心して行えるよう、ボランティア活動中の事故に対応する保険への加入促進を図りました。

①ボランティア活動保険加入件数 67件

内訳（基本プラン50件、天災・地震補償プラン11件、特定感染症重点プラン6件）

②ボランティア行事保険加入件数 36件

③送迎サービス補償 15件

④福祉サービス総合補償 1件

・ボランティア活動資材や活動場所の貸出

高齢者疑似体験セットや車椅子、放送機器等の貸出や活動場所としてボランティアビューローを貸出し、体験学習やボランティア活動への支援を行いました。

高齢者や障がい者等のための貸出	・車椅子 56件
ボランティア活動や学習支援のための貸出	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子 19件（74台） ・高齢者疑似体験セット 11件（38セット） ・白杖 5件（23本） ・アイマスク 4件（27枚） ・点字ブロック 3件 ・マイク・アンプ 1件 ・プロジェクター 5件 ・スクリーン 1件 ・延長コード 1件 ・パソコン 1件

・ボランティアビューロー利用件数 96件

・登録団体への支援

①甲府市ボランティア団体連絡協議会

甲府市を拠点に活動するボランティアグループや団体が加入する、甲府市ボランティア団体連絡協議会の事務局を担当し、各種会議の準備やボランティアウィーク「第4回ふれあい交流フェスタ」参加に伴う、活動支援等を行いました。

②市内大学交流ネットワーク

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2年間中止しておりましたが、令和4年度は、感染状況を勘案し、感染予防・防止対策の徹底を図る中で、3年ぶりに開催し、各団体の活動内容や課題等について、意見交換を行いました。

(オ)甲府市協働のまちづくり推進行動計画の共同実施

新たな取組として、令和4年10月12日(水)に山梨学院大学構内で実施した、ボランティア募集出張受付所の開設に併せ、甲府市協働支援センターと合同の出張ボランティア相談コーナーを併設しました。

(カ)その他の活動

・「ようふくりレー」

子育て家庭を支援するため、市民等からサイズが合わなくなってしまい着られなくなった子ども服などを寄付していただき、必要とする子育て家庭にリレーする「ようふくりレー」事業を実施しました。

収集期間：令和4年10月11日(火)～10月26日(水)

(収集数：子ども服4,712点、子ども用品1,033点)

おゆずり会：令和4年12月18日(日)、19日(月)

70組、151人利用

令和5年2月18日(土)

643人(「第4回ふれあい交流フェスタ」参加者数)

・善意のカレンダー運動

家庭や企業等で余っているカレンダーや手帳を寄付していただき、入手が困難な高齢者や福祉施設等で活用してもらいました。

実施期間：(収集)令和4年12月5日(月)～27日(火)

(活用)令和4年12月12日(月)～令和5年1月23日(月)

収集件数：壁掛けカレンダー1,308、卓上カレンダー641、

手帳427 合計2,376

- ・使用済み切手や牛乳パック等の活用
使用済み切手や牛乳パックなどを回収しリサイクル活動に協力しました。

(2) 赤い羽根共同募金運動の推進

山梨県共同募金会甲府市支会事務局として、支会の各種会議を開催する中、自治会連合会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会等各種団体と連携し、共同募金運動を実施しました。

また、山梨県共同募金会より、「共同募金運動推進モデル事業」の指定を受け、啓発活動等に活用するマスコットキャラクターを募集し、採用作品となった「ハートくん」のグッズ（トートバッグ、クリアファイル）を作製するなど、赤い羽根共同募金の周知に努めました。

さらに、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、2年間中止していた街頭募金運動を感染予防・防止対策の徹底を図る中で、関係団体の協力を得て6回実施するとともに、募金機能付き自動販売機の設置の促進を図るなど、募金実績の拡大に努めました。

ア 山梨県共同募金会甲府市支会

(ア) 監査会

日 時 令和4年6月21日(火) 午前10時
場 所 ボランティアビューロー

(イ) 正副支会長会議

日 時 第1回 令和4年6月23日(木) 午前10時
第2回 令和4年9月7日(水) 午後2時
場 所 会議室

(ウ) 委員会

第1回

市有施設において、新型コロナウイルス感染症対策として、会議室の人数制限を行っている中、同委員会規模の受入ができる施設がないことから書面により開催しました。

第2回

開催予定日 令和4年9月16日(金) 午前10時
開催予定場所 山梨県立文学館 講堂

※開催に向けて準備を進めていましたが、県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数が、依然として、高止まり傾向にあったことから書面による開催としました。

イ 募金実績（総額：15,930,393円）

【内訳】

家庭募金	6,790,808円
大口・事業所募金	5,962,778円
職場募金	1,688,205円
特殊募金	639,744円
街頭募金	127,037円
自動販売機募金	530,721円
歳末たすけあい募金	191,100円

ウ 配分額（総額：6,692,005円）

※山梨県共同募金会への返還分を除いた金額

【内訳】

(ア) 地域社会福祉事業（2,090,905円）

- ・ 広報啓発事業……社協だよりの発行等
- ・ 高齢者福祉事業……各地区敬老会開催に係る助成等
- ・ 福祉団体支援事業…民間福祉団体助成事業（各種福祉団体への助成）

(イ) あったかサービス事業（950,000円）

- ・ ふれあい交流促進事業
相生地区……「朝市」と「寄席」開催事業に係る助成
琢美地区……高齢者のつどい開催事業に係る助成
里垣地区……喜寿の祝い記念品贈呈事業に係る助成
甲運地区……一人暮らし高齢者へのプレゼント配付事業に係る助成
石田地区……ひとり暮らし高齢者及び在宅介護者の訪問調査と記念品配布事業に係る助成
新田地区……いきいきサロン活性化事業に係る助成
国母地区……ねたきり・認知症高齢者等の慰問・交流事業に係る助成
山城地区……高齢者ふれあい事業に係る助成
大里地区……高齢者慶祝品配付事業に係る助成
相川地区……一人暮らし高齢者の訪問と健康良品の贈呈事業に係る助成
市社協……高齢者交流促進事業に係る経費
- ・ 配食サービス事業に係る経費

(ウ) 安心・安全なまちづくり事業（300,000円）

- ・ 災害ボランティアセンターの備品整備及び養成事業に係る経費

(エ) みんなで地域を良くする事業（1,200,000円）

- ・ 小地域ネットワーク活動推進事業に係る経費
- ・ 福祉のまちづくり推進事業に係る経費
- ・ 地域安心活性化事業
富士川地区……地域散策ウォーキング開催事業に係る助成

朝日地区……健康体操教室開催事業に係る助成
 東地区……ウォーキング健康教室開催事業に係る助成
 貢川地区……歳末友愛訪問事業に係る助成
 伊勢地区……健康教室開催事業、「口腔ケアと食生活（栄養）」チラシ
 配布事業に係る助成
 住吉地区……ウォーキング大会開催事業に係る助成
 上九一色地区…三世代交流グラウンドゴルフ大会開催事業に係る助成
 千塚地区……健康ウォーク開催事業に係る助成
 羽黒地区……三世代交流スポーツ大会開催事業に係る助成
 市社協……ゲーム機を活用した交流事業に係る経費
 フードアプリケーションプラスに係る経費

(オ) ボランティア広報事業（110,000円）

- ・「福祉ボランティア活動実践校事業、地域ぐるみボランティア活動推進事業活動集」作成事業に係る経費

(カ) 地域福祉活動事業（1,490,000円）

- ・甲府市社会福祉大会事業に係る経費
- ・ホームページ掲載による情報発信事業に係る経費
- ・虐待防止研修会事業に係る経費
- ・福祉推進員研修会等事業に係る経費
- ・地区社協だよりの発行に係る助成

(キ) 小地域福祉活動事業（300,000円）

- ・新紺屋地区…グラウンドゴルフ大会開催事業に係る助成
- ・池田地区……ひとり暮らし高齢者を励ます活動に係る助成
- ・玉諸地区……発電機整備事業に係る助成
- ・北新地区……非常用発電機及び照明器具整備事業に係る助成

(ク) 地域福祉活動団体推進事業（60,000円）

- ・甲府市民生委員児童委員全体研修会に係る助成

(ケ) 歳末たすけあい配分事業（191,100円）

「在宅65歳以上のねたきり・認知症高齢者」と「20歳以上の特別障害者手当受給者」への贈呈品の配布
 （贈呈品：みそ汁・白子のり詰合せセット）

エ 募金百貨店プロジェクト

協力店 株式会社いちやまマート

期 間 令和4年7月1日（金）～8月31日（水）

内 容 アサヒ飲料の対象商品1本につき2円の寄付

募金額 45,536円

3 権利擁護体制の整備

(1) 成年後見制度に関する事業

甲府市から成年後見制度中核機関を引き続き受託し、成年後見制度に関する事業の更なる推進を図りました。

ア 相談業務

- ・成年後見制度に関する総合相談 170件

イ 市民後見人養成研修業務

オリエンテーション（書面開催）

- ・受講者 14名

実践研修

- ・受講者 9名
- ・講座 全6回

	日程	内容
第1回	1月18日（水）	地域の現状 介護保険制度、高齢者福祉制度、障がい者福祉制度、生活保護制度について
第2回	2月1日（水）	家庭裁判所の役割 日常生活自立支援事業について 生活支援員の業務について
第3回	2月15日（水）	対人援助の基礎
第4回	3月1日（水）	家庭裁判所への提出書類作成 後見人業務の1年カレンダーの作成
第5回	3月15日（水）	成年後見の実務
第6回	3月29日（水）	課題演習 「事例を用いて成年後見人の役割を確認する」

※実習（高齢者施設・障がい者施設・日常生活自立支援事業生活支援同行）は、令和5年4月～5月に実施。

ウ 法人後見業務

- ・法人後見業務 15件

類 型	令和3年度			令和4年度		
	新規受任	終 了	年度末	新規受任	終 了	年度末
後 見	1	1	8	3	0	11
保 佐	1	0	2	0	0	2
補 助	0	0	2	0	0	2
合 計	2	1	12	3	0	15

エ 会議の開催

- ・「福祉後見サポートセンターこうふ」運営委員会

第1回 令和4年 4月22日（金） 午後6時30分（オンライン開催）

第2回 令和4年10月28日（金） 午後6時30分（オンライン開催）

- ・成年後見制度利用検討部会

第1回 令和4年 5月25日（水） 午後1時30分（オンライン開催）

第2回 令和4年 7月29日（金） 午後4時30分（オンライン開催）

第3回 令和4年 9月29日（木） 午後5時30分（オンライン開催）

第4回 令和4年11月29日（火） 午後5時（オンライン開催）

第5回 令和5年 1月31日（火） 午後5時（オンライン開催）

第6回 令和5年 3月30日（木） 午後5時（オンライン開催）

- ・甲府市成年後見制度利用推進連携協議会

第7回 令和4年 7月20日（水） 午後1時30分（オンライン開催）

第8回 令和5年 2月27日（月） 午前10時（オンライン開催）

- ・定例会

第1回 令和4年 4月19日（火） 午後 1時（オンライン開催）

第2回 令和4年 5月18日（水） 午後 1時（オンライン開催）

第3回 令和4年 6月27日（月） 午前10時（オンライン開催）

第4回 令和4年 7月26日（火） 午後 5時30分（オンライン開催）

第5回 令和4年 8月29日（月） 午前10時（オンライン開催）

第6回 令和4年 9月26日（月） 午後5時（オンライン開催）

第7回 令和4年10月24日（月） 午前 9時（オンライン開催）

第8回	令和4年11月21日(月)	午前 9時30分(オンライン開催)
第9回	令和4年12月21日(月)	午前 9時(オンライン開催)
第10回	令和5年 1月24日(火)	午前10時(オンライン開催)
第11回	令和5年 2月21日(火)	午後6時(オンライン開催)
第12回	令和5年 3月27日(月)	午後6時(オンライン開催)

・法人後見ネットワーク会議

第1回	令和4年 4月18日(月)	午前10時
第2回	令和4年 6月30日(木)	午前10時
第3回	令和4年 8月25日(木)	午前10時(オンライン開催)
第4回	令和4年10月20日(木)	午後 1時30分(オンライン開催)
第5回	令和4年12月15日(木)	午前10時(オンライン開催)
第6回	令和5年 2月17日(金)	午前10時

オ 広報活動等

- ・甲府市社会福祉協議会ホームページへの掲載
- ・こうふ社協だよりへの掲載
- ・甲府市地域包括支援センター実務者会議(オンライン会議)での中核機関の紹介

カ 啓発事業

- ・令和4年度 成年後見研修会

日 時 令和4年11月 9日(水) 午後1時30分
 講 師 弁護士 松本 成輔 氏
 演 題 「権利とは」～生活の中にある「権利」～
 方 法 オンラインによる研修
 申 込 者 41名

(2) 日常生活支援事業

ア 日常生活自立支援事業

山梨県社会福祉協議会からの受託により、利用者との契約に基づいて、判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障がい・精神障がいのある方々の日常生活を支援しました。

市民後見人養成研修修了者のうち希望者を市民生活支援員として登録し、市民参加による地域福祉活動を推進しました。

担当地域 甲府市
 支援体制 専門員 1名
 生活支援員 44名(社協職員9名、市民生活支援員35名)
 相談援助件数 1,705件
 利用者数 55名

- ・甲府地区自立生活支援計画策定委員会

- 第1回 令和4年7月27日（水）午前10時
 第2回 令和5年3月16日（木）午前10時
 内 容 日常生活自立支援事業利用者の現状と今後の援助等について

イ 生活福祉資金等貸付事業

山梨県社会福祉協議会からの受託により、経済的自立と生活意欲の助長促進等を目的として低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯等への貸付の受付相談窓口業務等を行いました。

(7) 貸付資金の種類と貸付状況

①生活福祉資金＜実施主体 山梨県社会福祉協議会＞

貸付件数 (R4. 4. 1 現在)	相談件数	新規貸付件数	貸付件数 (R5. 3. 31 現在)
78件	427件	12件	79件

・完済：5件 ・転出：1件 ・償還免除：5件

②臨時特例つなぎ資金＜実施主体 山梨県社会福祉協議会＞

貸付件数 (R4. 4. 1 現在)	相談件数	新規貸付件数	貸付件数 (R5. 3. 31 現在)
0件	0件	0件	0件

③山梨県高齢者居室等整備資金及び重度心身障害者居室等整備資金
 ＜実施主体 山梨県社会福祉協議会＞

貸付件数 (R4. 4. 1 現在)	相談件数	新規貸付件数	貸付件数 (R5. 3. 31 現在)
5件	0件	0件	5件

④要援護者緊急援助金＜実施主体 甲府市社会福祉協議会＞

相談件数	新規受付件数
9件	9件

(i) 借受人に対する相談支援等

- ・滞納者相談（面談、電話） 84名
- ・滞納者への現況確認票の送付 94名
- ・居住地調査 3名
- ・債務承認書の受付 1名

(ウ) 新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、収入が減少した方を対象とした特例貸付に対応しました。

なお、令和2年3月25日から受付けておりました特例貸付につきましては、令和4年9月30日をもって受付け終了となりました。

① 緊急小口資金<実施主体 山梨県社会福祉協議会>

相談件数	新規受付件数
200件	175件

② 総合支援資金<実施主体 山梨県社会福祉協議会>

相談件数	新規受付件数
206件	184件

※総合支援資金の「延長貸付」は令和3年6月末、「再貸付」は令和3年12月末で終了しました。

ウ 生活困窮者寒波対策緊急支援事業

令和5年1月下旬、10年に一度とも言われる強烈な寒波が日本列島を襲うとの観測がなされた中、生活に困窮し、暖房器具に使用する灯油の購入が困難な世帯に対し、生活相談及び灯油助成券を配布する「生活困窮者寒波対策緊急支援事業」を山梨県から受託しました。

- ・実施期間 令和5年1月25日（水）～1月31日（火）（7日間）
- ・灯油助成券配布数 967枚（助成券1枚につき灯油18リットルと交換）

4 福祉施設サービスの充実

甲府市福祉センター（5施設）、上九の湯ふれあいセンター、健康の杜センター及びいきいきプラザ（2施設）の計9施設の設置に係る甲府市の条例等を遵守する中、新型コロナウイルス感染予防及び感染拡大防止策を講じつつ、快適に利用することができるよう安全で安心な施設管理に努めました。また全施設について、新型コロナウイルス感染状況を注視しながら各種の緩和を行いました。

(1) 甲府市福祉センターの管理・運営（開館日数：293日）

新型コロナウイルス感染症ウイルスの感染防止対策に伴う利用制限をしながら開館しました。

また、甲府市と協議する中で一定の制限緩和を実施しました。

介護予防事業については、9月から保健師による「お達者くらぶ」を再開するとともに12月からはセンター看護師による各種教室を再開しました。

送迎バスについては、感染防止対策を行いながら12月より再開しました。

ア 利用状況

(単位：人)

	令和3年度				令和4年度				前年度との比較			
	男	女	計	1日平均利用者数	男	女	計	1日平均利用者数	男	女	計	1日平均利用者数
玉諸	7,263	7,565	14,828	62.3	7,624	7,684	15,308	52.2	361	119	480	△ 10.1
山宮	4,816	5,610	10,426	43.8	4,582	5,340	9,922	33.9	△ 234	△ 270	△ 504	△ 9.9
貢川	5,377	5,314	10,691	44.9	4,281	5,255	9,536	32.5	△ 1,096	△ 59	△ 1,155	△ 12.4
相川	6,270	7,104	13,374	56.2	5,948	7,936	13,884	47.4	△ 322	832	510	△ 8.8
相生	6,106	6,708	12,814	53.8	6,277	8,092	14,369	49.0	171	1,384	1,555	△ 4.8
合計	29,832	32,301	62,133	52.2	28,712	34,307	63,019	43.0	△ 1,120	2,006	886	△ 9.2

イ ふくし号（バス）利用状況

	令和3年度				令和4年度				前年度との比較			
	運転日数(日)	運転回数(回)	利用者数(人)	1日平均利用者数(人)	運転日数(日)	運転回数(回)	利用者数(人)	1日平均利用者数(人)	運転日数(日)	運転回数(回)	利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
玉諸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山宮	0	0	0	0	9	18	144	16	9	18	144	16
貢川	0	0	0	0	11	22	188	17.1	11	22	188	17.1
相川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	20	40	332	16.6	20	40	332	16.6

ウ 機能回復訓練等利用状況

(単位:人)

区 分		玉 諸	山 宮	貢 川	相 川	相 生	合 計
生活・健康・身上相談	R 3	100	14	59	781	34	988
	R 4	126	31	69	585	40	851
	比較	26	17	10	△ 196	6	△ 137
介護予防・機能訓練	R 3	1,002	1,350	1,437	442	2,787	7,018
	R 4	2,508	1,727	2,026	805	3,036	10,102
	比較	1,506	377	589	363	249	3,084
ヘルストロン、各種 マッサージ等利用者	R 3	78	3	0	52	37	170
	R 4	317	0	14	208	629	1,168
	比較	239	△ 3	14	156	592	998
療育指導・技能習得	R 3	0	0	66	0	90	156
	R 4	0	0	0	0	114	114
	比較	0	0	△ 66	0	24	△ 42
教養の向上・レク リエーション	R 3	971	1,718	1,896	2,407	806	7,798
	R 4	862	1,835	2,049	2,842	1,005	8,593
	比較	△ 109	117	153	435	199	795
シニアクラブ等に 対する援助等	R 3	67	112	116	272	48	615
	R 4	65	194	143	206	108	716
	比較	△ 2	82	27	△ 66	60	101
その他 (市の事業への協力等)	R 3	176	369	87	295	479	1,406
	R 4	160	217	63	463	452	1,355
	比較	△ 16	△ 152	△ 24	168	△ 27	△ 51
合 計	R 3	2,394	3,566	3,661	4,249	4,281	18,151
	R 4	4,038	4,004	4,343	5,109	5,384	22,899
	比較	1,644	438	682	860	1,103	4,748

エ 各種実施事業

区 分	玉 諸	山 宮	貢 川	相 川	相 生
生活・健康・ 身上等の相談及 び指導	・看護師による生活 ・健康・身上等の相 談及び指導（日常 相談業務）	・看護師による生活 ・健康・身上等の相 談及び指導（日常 相談業務）	・看護師による生活 ・健康・身上等の相 談及び指導（日常 相談業務）	・看護師による生活 ・健康・身上等の相 談及び指導（日常 相談業務）	・看護師による生活 ・健康・身上等の相 談及び指導（日常 相談業務）
療育指導及び 技能習得	なし	なし	なし	なし	・障害者団体等への 施設の供与及び 援助
教養の向上・レク リエーション	・各自主グループ活 動への施設供与 及び援助	・各自主グループ活 動への施設供与 及び援助	・各自主グループ活 動への施設供与 及び援助	・各自主グループ活 動への施設供与 及び援助	・各自主グループ活 動への施設供与 及び援助
シニアクラブに対 する援助等	・シニアクラブ活動 への施設供与及 び援助	・シニアクラブ活動 への施設供与及 び援助	・シニアクラブ活動 への施設供与及 び援助	・シニアクラブ活動 への施設供与及 び援助	・シニアクラブ活動 への施設供与及 び援助
介護予防・機能回 復訓練	・お達者くらぶ ・認知症予防教室 ・ミニ脳たいそう ・すこやか地域サポ ーター養成講座	・お達者くらぶ ・認知症予防教室 ・ミニ脳たいそう ・すこやか地域サポ ーター養成講座	・お達者くらぶ ・認知症予防教室 ・ミニ脳たいそう ・すこやか地域サポ ーター養成講座	・お達者くらぶ ・認知症予防教室 ・ミニ脳たいそう ・すこやか地域サポ ーター養成講座	・お達者くらぶ ・認知症予防教室 ・ミニ脳たいそう ・すこやか地域サポ ーター養成講座
その他	・ワクチン OL 予約 代行への協力 ・通所型介護予防事 業への協力 ・救急対応	・ワクチン OL 予約 代行への協力 ・通所型介護予防事 業への協力	・ワクチン OL 予約 代行への協力 ・小学校校外学習の 受入 ・救急対応	・ワクチン OL 予約 代行への協力 ・通所型介護予防事 業への協力	・ワクチン OL 予約 代行への協力 ・通所型介護予防事 業への協力 ・救急対応

(2) 甲府市上九の湯ふれあいセンターの管理・運営（開館日数：310日）

新型コロナウイルス感染症ウィルスの感染防止対策に伴う利用制限を行いながら開館しました。

6月からは一度の入浴人数制限を8人から15人に、入浴時間制限は70分から120分へと緩和を行い、3月からは一度の入浴人数制限20人へと緩和しました。また、中道地区、上九一色地区無料巡回バスを11月から運行再開しました。

ア 利用状況

施設区分		利用料金 (円)	令和3年度 利用者数 (人)	令和4年度 利用者数 (人)	前年度 との比較	令和3年度 料金 (円)	令和4年度 料金 (円)	前年度との 比較
温泉 (市内)	一般	310	3,197	5,009	1,812	991,070	1,552,790	561,720
	小・中学生	100	327	372	45	32,700	37,200	4,500
	障がい者	110	683	1,153	470	75,130	126,830	51,700
	回数券購入者	3,100	-	-	-	368,900	471,200	102,300
	回数券利用者	-	1,526	1,776	250	-	-	
温泉 (市外)	一般	730	1,208	3,141	1,933	881,840	2,292,930	1,411,090
	小・中学生	310	130	490	360	40,300	151,900	111,600
	障がい者	310	87	104	17	26,970	32,240	5,270
	回数券購入者	7,300	-	-	-	14,600	21,900	7,300
	回数券利用者	-	39	30	△ 9	-	-	-
	夜間(17時以降)	520	304	857	553	158,080	445,640	287,560
	団体(15名以上)	520	0	47	47	0	24,440	24,440
温泉(スタンプ特典)		-	320	425	105	-	-	-
温泉スタンド		10円/100	-	-	-	9,910	37,200	27,290
施設利用者及び料金(多目的室等)			0	40	40	0	0	0
事業収入及び手数料等			-	-	-	150,786	211,256	60,470
合 計			7,821	13,444	5,623	2,750,286	5,405,526	2,655,240
1日平均			28.2	43.4	15.2	9,928.83	17,437.18	7,508.4

イ 施設利用状況

施設区分	令和3年度 利用者数 (人)	令和4年度 利用者数 (人)	前年度との 比較	令和3年度 料金 (円)	令和4年度 料金 (円)	前年度との 比較
会議室	0	0	0	0	0	0
多目的室	0	40	40	0	0	0
栄養実習室	0	0	0	0	0	0
合 計	0	40	40	0	0	0
1日平均	0	0.13	0.13	0	0	0

ウ 中道地区、上九一色地区無料巡回バス

区 分	令和3年度利用状況	令和4年度利用状況	前年度との比較
運転日数(日)	0	41	41
運転回数(回)	0	60	60
利用者数(人)	0	21	21
1日平均	0	0.5	0.5

※ 団体利用のための送迎バスの利用はありませんでした。

(3) 甲府市健康の杜センター（開館日数：307日）

新型コロナ感染症ウイルスの感染防止対策に伴う利用制限を行いながら開館しました。

なお6月より調理室を除き利用時間の制限を解除しました。

ア 利用状況

施設区分	令和3年度 利用者数 (人)	令和4年度 利用者数 (人)	前年度 との比較	令和3年度 利用料 (円)	令和4年度 利用料 (円)	前年度 との比較
多目的室	2,425	3,137	712	40,230	65,250	25,020
会議室	207	374	167	300	2,520	2,220
集会室1	52	113	61	0	560	560
集会室2	600	583	△ 17	7,730	7,720	△ 10
調理実習室	0	11	11	0	1,510	1,510
トレーニング室	633	925	292	130,290	237,750	107,460
幼児コーナー	384	686	302	-	-	-
ゲートボール場	0	0	0	-	-	-
芝生広場	300	305	5	-	-	-
親水公園	4	63	59	-	-	-
中道つどいの広場	384	686	302	-	-	-
その他（駐車場利用等）	821	847	26	-	-	-
合計	5,810	7,730	1,920	178,550	315,310	136,760
1日平均	23.4	25.2	1.8	720.0	1,027.1	307.1

(4) 甲府市いきいきプラザ（開館日数：307日）

新型コロナ感染症ウイルスの感染防止対策に伴う利用制限を行いながら開館しました。

なお6月より利用時間制限を解除しました。

ア 上曽根いきいきプラザ

施設区分	令和3年度 利用者数 (人)	令和4年度 利用者数 (人)	前年度 との比較	令和3年度 利用料 (円)	令和4年度 利用料 (円)	前年度 との比較
集会室	30	108	78	1,800	7,190	5,390
多目的室	67	36	△31	8,160	5,840	△ 2,320
ゲートボール場	0	0	0	-	-	-
その他	0	0	0	-	-	-
合計	97	144	47	9,960	13,030	3,070
1日平均	0.34	0.47	0.13	34.8	42.4	7.6

イ 古関・梯いきいきプラザ

施設区分	令和3年度 利用者数 (人)	令和4年度 利用者数 (人)	前年度 との比較	令和3年度 利用料 (円)	令和4年度 利用料 (円)	前年度 との比較
多目的室	0	0	0	0	0	0
集会室	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0
1日平均	0	0	0	0	0	0

5 在宅福祉サービス事業の経営

国等の福祉施策と社会情勢の変化を見据え、令和元年度に実施した在宅福祉サービス事業の見直しに関する検討を継続的に進め、経営の改善に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、要支援者に対する包括的支援と、安心・安全な在宅介護サービスの提供に努めました。

また、職員のスキルアップを図るため、オンラインによる研修にも積極的に参加し、在宅福祉サービスの質の向上に努めました。

(1) 訪問介護事業

利用者の支援に関わる職員の体調管理を徹底するなか、適宜衛生用品（マスク、アルコール消毒液等）や新型コロナウイルス抗原検査キットを配付し、感染拡大防止と継続的なサービス提供に努めました。

また、住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、介護支援専門員等、介護に関わる関係者と連携を図りながら、利用者のニーズに寄り添ったサービスの提供に努めました。

項 目	令和3年度		令和4年度		前年度との比較	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
訪問介護	6,872	54	7,273	46	401	△8
介護予防・日常生活支援総合事業	957	13	614	10	△343	△3

(2) 居宅介護事業（障がい福祉サービス）

感染拡大防止を徹底する中、障がいのある方が地域で孤立することなく、各種サービスを利用しながら不自由なく社会参加することができるよう、支援に関わる相談支援員を始めとする関係者と連携を図り、安心・安全な支援を行いました。

また、利用者サービスの一環として、引き続き移送サービス（介護保険外サービス）を実施し、利用者の福祉向上に努めました。

項 目	令和3年度		令和4年度		前年度との比較	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
居宅訪問介護	7,324	42	6,571	34	△753	△8
同行援護	1,386	28	1,190	24	△196	△4
移動支援	488	10	315	10	△173	0

(3) 通所介護事業（甲府市中道デイサービスセンター）

利用者に快適なサービスを提供することができるよう、感染防止対策を徹底しながら継続的な支援に努めました。

また、利用者サービスの一環として、定期受診の際に移送サービス（介護保険外サービス）を利用していただくなど、サービスの充実を図るとともに、デイサービスの様子を紹介した「中道デイ通信」の発行や、「第22回介護健康フェア in こうふ」におけるPR活動を通じて、情報発信にも努めました。

さらに、地域密着型通所介護事業所として今年度が初めての取組となる「ヨモギ饅頭づくり教室」を開催し、地域住民との交流を深めました。

なお、甲府市上九一色デイサービスセンターは、令和2年4月1日からデイサービス事業を休止しているため、施設の清掃等、管理業務を行いました。

項 目	令和3年度		令和4年度		前年度との比較	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
通所介護（地域密着）	2,425	24	2,346	23	△79	△1
介護予防・日常生活支援総合事業	176	4	142	2	△34	△2
営業日数	306日		309日		3日	

(4) 地域包括支援センター事業

中道・上九一色地区の中核機関として甲府市保健師や生活支援コーディネーター、地域密着型施設など様々な職種・機関と連携を図りながら、地域包括ケア体制の構築に向けた取組を進めました。

また、コロナ禍にあっても、感染防止対策を徹底しながら開催された、地区内の各種会議には積極的に参加し、地域住民と顔の見える関係づくりや地域課題の共有などに努めました。

さらに、昨年度から引き続き、中道・上九一色地区において山梨県立大学と共同で高齢者の足の健康に関する啓発活動を実施し、介護予防事業における「フットケア」の有益性について周知に努めました。

項目	令和3年度		令和4年度		前年度との比較	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
総合相談対応	271	189	232	164	△39	△25
介護予防サービス計画作成	252	28	261	27	9	△1
介護予防ケアマネジメント作成	185	32	242	29	57	△3
元気アップ高齢者実態把握	182		99		△83	

6 人材育成と業務効率化

(1) 人材育成

人材育成基本方針に基づき、人事評価制度による職員の能力評価や業績評価を実施するとともに、職員研修計画に基づく職員のスキルアップなどのための研修を開催しました。

また、新たな試みとして職員提案による研修の実施や新たな分野へ取組むための研修を開催しました。

さらに、甲府市との人事交流を継続して行い、本協議会の将来を担う職員の育成に努めました。

(2) 業務効率化

職員それぞれが担当する業務の執行を行う中で、費用対効果や効率等、業務効率化を高めることに努めました。

(3) デジタル化の推進

ウェブ会議システムを活用した会議や研修会の開催など、業務の合理化・効率化を図り、デジタル技術を推進するための環境整備に努めました。

7 法人運営・財政基盤の強化

(1) 「甲府市社会福祉協議会強化発展計画」の進行管理

令和4年度の甲府市社会福祉協議会強化発展計画実施計画については、年に2回開催した評価検討委員会において、事業実績や課題などを評価し、事業効果を高めるための検討など、適確な進行管理に努めました。

また、当初は令和4年度までとなっていた強化発展計画の計画期間を甲府市地域福祉推進計画と整合を図るため、計画期間を1年延長し、次期計画策定に向けた検討を行いました。

ア 事業の評価

強化発展計画実施計画評価検討委員会をはじめ、経営会議や管理職会議等において、各種事業の課題等を検証し、今後に向けた方向性や継続性、または財源の確保等、総合的な視点に立った検討を行いました。

イ 財源の確保

自主財源として会費収入の確保に向けて、地区自治会連合会及び地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会等の協力のもと、会員加入促進のチラシを配布するとともに、職員が地区自治会連合会の会議に出席して、会員加入促進の説明を行うなどの取組を進めました。

また、令和4年度は、法人会員の確保に向けた取組として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止していた甲府市内の法人に対する訪問による加入促進活動を3年ぶりに再開し、一定の成果を挙げることができました。

さらに、成年後見制度による後見報酬や上九の湯ふれあいセンターの利用料などをはじめとした自主財源の確保にも努め、公的財源については、甲府市と課題や要望などの検討事項を協議する地域福祉推進共同連携会議を通じて、補助金や委託料などの適正な財源確保に向けた協議を行いました。

・会費納入集計結果……地区社協及び市社協集約分の合計（過去3か年）

年 度	一般会員・特別会員				法人会員		団体会員		合 計				
	市社協扱い		地区社協扱い		納入額 (円)	件数	納入額 (円)	件数	納入額 (円)	件数	前年度比		
	納入額 (円)	件数	納入額 (円)	件数							納入額 (円)	件数	納入額 (円)
													前年度比
R2	75,000	79	22,731,240	44,258	1,262,000	229	167,000	23	24,235,240	44,589	△420,510	204	
R3	68,500	101	22,465,340	43,911	1,253,000	219	151,000	20	23,937,840	44,251	△297,400	△338	
R4	70,500	106	22,179,750	43,617	1,338,000	236	146,000	19	23,734,250	43,978	△203,590	△273	

ウ 広報啓発活動の展開

(ア) 第45回甲府市社会福祉大会の開催

長年にわたり社会福祉の向上に功績のあった方々を顕彰するとともに、記念講演を通じて福祉に対する意識高揚と住民相互の絆を深めることを目的として、3年ぶりに第45回甲府市社会福祉大会を甲府市と共催で開催しました。

開催日 令和4年11月18日(金) 午前10時
会場 甲府市総合市民会館 芸術ホール
スローガン 「ほほ笑みの キャッチボールで まちづくり」
顕彰 甲府市長・甲府市社会福祉協議会会長表彰状授与者
個人 26名 団体 1団体
甲府市長・甲府市社会福祉協議会会長感謝状贈呈者
個人 55名
甲府市社会福祉協議会会長感謝状贈呈者
個人 2名 団体 1団体 法人27法人
記念講演 「with コロナから after コロナの時代へ 健康長寿を目指すために今日から実行したいこと」
講師 福田 千晶 氏 (医学博士、健康科学アドバイザー)

(イ) こうふ社協だより (まごころ) の発行

年に2回、広報紙を発行し、令和4年度は特に「表紙を開いてもらう」をコンセプトに、本協議会の事業内容や、福祉サービス等の情報発信を行い、地域福祉活動への関心を深められるよう、紙面構成の工夫に努めました。

また、令和5年1月には、初めて開催された「全国社協広報紙コンクール」へエントリーし、優秀賞を受賞しました。

第61号 令和4年7月1日 80,000部 発行

第62号 令和5年1月1日 80,000部 発行

(ウ) ホームページの充実とSNSを活用した情報発信

ホームページは、タイムリーな情報発信ができるよう運用方法等を見直すとともに、効果的な広報の充実に努めました。

また、甲府大好きまつりをはじめ、イベントなどを通じ、LINEの登録者を増やす活動にも積極的に取り組み、SNSを多く活用した情報提供を行いました。

(2) 会議の開催状況

ア 正副会長会議 (4回開催)

理事会、評議員会に先立ち、これらの会議に提案する議案などについて、正副会長による審議を行いました。

開催日 令和4年 5月20日(金)

令和4年 9月12日(月)

令和4年10月31日(月)

令和5年 3月 6日(月)

イ 理事会(3回開催)

日時 令和4年5月30日(月) 午前10時

場所 甲府市総合市民会館 大会議室

議案 第1号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会理事選任候補者について

第2号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について

第3号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について

第4号 令和3年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会事業報告について

第5号 令和3年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会決算について

第6号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員会の開催について

日時 令和4年11月14日(金) 午後1時30分

場所 甲府市総合市民会館 大会議室

議案 第7号 令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会上半期(4月～9月)事業報告について

第8号 令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会上半期(4月～9月)予算執行状況について

第9号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員会の開催について

日時 令和5年3月13日(月) 午前10時

場所 甲府市南公民館 大ホール

議案 第10号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会理事選任候補者について

第11号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について

第12号 令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第1号)について

第13号 令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会公益事業区分補正予算(第1号)について

第14号 令和5年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会事業計画(案)について

第15号 令和5年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会予算(案)について

第16号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約について

第17号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員会の開催について

ウ 評議員会（3回開催）

日 時 令和4年6月16日（木）午前10時
場 所 甲府市総合市民会館 大会議室
議 案 第1号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会理事の選任について
第2号 令和3年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会事業報告について
第3号 令和3年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会決算について

日 時 令和4年11月28日（月）午後1時30分
場 所 甲府市総合市民会館 大会議室
議 案 第4号 令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会上半期（4月～9月）事業報告について
第5号 令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会上半期（4月～9月）予算執行状況について

日 時 令和5年3月20日（月）午前10時
場 所 甲府市総合市民会館 大会議室
議 案 第6号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会理事の選任について
第7号 令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第1号）について
第8号 令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会公益事業区分補正予算（第1号）について
第9号 令和5年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会事業計画（案）について
第10号 令和5年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会予算（案）について

エ 監査会（1回開催）

日 時 令和4年5月12日（木）午前10時
場 所 甲府市男女共同参画センター
監 査 (1)令和3年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会事業監査
(2)令和3年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会会計監査

オ 評議員選任・解任委員会（2回開催）

日 時 令和4年5月30日（月）午前11時
場 所 甲府市総合市民会館 大会議室
議 題 (1)社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員の選任について

日 時 令和5年3月13日（月）午前11時
場 所 甲府市総合市民会館 大会議室
議 題 (2)社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員の選任について

カ 表彰等審査委員会の開催（3回開催）

日 時 令和4年6月20日（月）から28日（火）

場 所 書面による開催

議 題 (1)厚生労働大臣表彰候補団体の審査について

日 時 令和4年7月5日（火）午後1時30分

場 所 甲府市男女共同参画センター

議 題 (1)全国社会福祉協議会会長表彰等候補者の審査について
(2)山梨県知事表彰等候補者の審査について

日 時 令和4年9月12日（月）午後1時30分

場 所 甲府市男女共同参画センター

議 題 (1)山梨県社会福祉協議会会長表彰等候補者の審査について
(2)甲府市社会福祉協議会会長表彰等候補者の審査について